



ようこそ 志水小へ from 志水小学校

四月二十日(金)、児童会主催の「一年生を迎える会」を行いました。始業式から二週間の準備期間でしたが、児童会役員の企画運営により、和やかに会を行うことができました。

まず、体育館では、代表が花のアーチを持って、一年生のための花道を作りました。担任に連れられてかわいらしい一年生が入場したあと、全員で校歌を元氣よく歌いました。

次に、三年生から六年生で「志水小学校の春夏秋冬」を紹介しました。三年生は春を紹介しました。初めての給食、授業参観、遠足の様子を学年全員で協力して発表しました。四年生は、夏、プールでワニ歩きをしたり、チャレランでぞうきがけレースをしたりする場面を劇にしました。また、通知表をもらうユーモラスな演技に、一年生からも笑い声が聞こえてきました。五年生は、秋、作品展や校外学習について、「オズの魔法使い」の替え歌にし、全員で軽快に踊って紹介しました。昨年度の



学習発表会の劇が思い出されました。六年生は、冬、なわとび運動、志水っ子ランニングの紹介を、実際に短縄跳びや長縄跳び、ランニングをしながら行いました。素晴らしい技の披露に、最高学年としての風格を感じました。

そして、「学校クイズ」。全校のみんが〇×で答えて、楽しみました。さて、「校長先生の好きな給食は、カレーである。」〇か×か。答えは、〇。最後に、じゃんけん列車を行い、一年生は、六年生と手をつないで退場しました。



「一年生を迎える会」は、入学した一年生をあたたかく迎え、学年間の縦のつながりをつくる行事です。一年生は、高学年の立派な姿に、頼もしさを感じたことと思います。一年生のみなさん、困ったことがあったら、上級生に何でも相談しましょう。今後、縦割り班をつくって、清掃活動等も行っていく予定です。学年を超えて仲がよいのが志水っ子の自慢です。

私の航空史

岡野允俊

お疲れ様、史料室

三菱重工史料室が閉室して一年が経った。思えば平成二年竹下内閣時代の「ふるさと創生運動」の影響を受け、日本の航空機産業を担ってきた名航(三菱重工工業名古屋航空宇宙システム製作所)も自社の記録を残すという意味からもまたこの機会に広く世間に認知してもらおうと名航史料室を設立した。当初は記録等をきちんと残しておく程度のものであったが時代の影響により零戦の復元、秋水の復元、戦後名航製のMU・2、MU・300、MH・2000等の原寸大機を展示保存しようというスタートし、以来OB等からの貴重な史料等も展示保存しようと思いい設立したものです。工場見学に来られた防衛省はじめ関係官公庁の方々の見学コースの総括的場所として多々利用されてきました。うわさが広がって一般個人も見学させてほしいとの要望もあり、特に一般見学日をさだめて



来場していただくなど要望に供してきました。技術・研究部出身、あるいはパイロット出身のかたなどが体験を通じての迫真の解説が人気を博し大勢の見学者が来られました。やがては旅行会社が愛好者を募ってツアーを組むなどその人気は上々でした。門外不出の資料などに研究者、マニアにとっては垂涎ものばかりでした。国内はもとより、遠く海外からも来られた人々もありました。これは会社にとつても、あるいは国にとつても貴重な航空史を語る史料であり末永く、大切に保存すべきものであることを痛感。社内にいると案外気づかないものだがこうして外部の皆さんの努力に感謝し、平成二十九年五月底を以て二十七年間の歴史を閉じさせていただきます。長い間のお付き合いに感謝する次第です。